

国家公務員制度担当大臣と公務員労働組合連絡会とのやりとり（概要）

日 時 平成28年2月19日（金）13:00～13:15
場 所 合同庁舎8号館会議室
出席者 先方）石原議長 外8名
当方）河野国家公務員制度担当大臣、外5名
案 件 2016年春闘期要求書の受取りについて

公務員連絡会

東日本大震災、原発事故から5年が過ぎようとしているが、避難生活を続けている被災者はいまだに17万人を超えている状況である。大規模な水害も発生し、国民生活が脅かされるなど、国民の不安は尽きない。国民の安全、安心の確保や被災者の生活再建が、最優先課題であることを改めて肝に銘じ、公務部門の労働組合としても、それぞれの職場で全力を尽くしていく所存である。河野大臣においても、組合員が安心して仕事に打ち込めるように勤務環境の一層の改善にご努力願いたい。

公務員連絡会は連合に結集し、2016年春季生活闘争に取り組んでいる状況にある。「底上げ・底支え」「格差是正」を掲げ、賃金の引上げとディーセント・ワークの実現をめざしている。

公務員労働者は被災者への対応をはじめ、国民の期待に応えるため、それぞれの持ち場で日夜自らの職務に全力を尽くしている状況だが、その勤務環境は要員不足により超過勤務も一向に改善されないなど、厳しいものとなっている。

良質な公務・公共サービスを確実に実施していくためには、賃上げによる処遇の改善で組合員の奮闘に応えることが何よりも重要である。また、ワークライフバランス、女性の活躍促進には、定員の確保で超過勤務を抜本的に減らす必要があると考えている。定員問題は、職員の希望通りの再任用が実現されず、また、その能力や経験が十分に活用されない一因ともなっている。

河野大臣におかれては、以上申し上げたことも踏まえて、公務員労働者が国民の期待に応えるために生きがいを持って働くことのできる職場となるよう、要求事項を実現していただきたい。

これから、交渉を積み重ね、3月24日には、国家公務員の人事行政に責任を持つ大臣として、直接春の段階の誠意ある回答を求めます。

国家公務員制度担当大臣

公務員の方々が国民全体のために献身的に職務に当たられていることに対し、敬意を表する。

ただいま、要求書を受け取り、要旨は承った。各要求事項については、しっかり検討し、しかるべき時期に回答させていただきたい。

— 以 上 —

文責：内閣官房内閣人事局（速報のため、事後修正の可能性あり）